

MycoTech (FoodTech) 企業の世界動向

この資料に含まれている企業や素材(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、技術的アドバイスを目的とするものではありません。
この資料に記述されている現状又は過去に関する事項は、JABEX事務局/JBA研究会担当者による入手可能な情報に基づく記載であり、仮訳も含め不正確又は誤った表記をしている可能性があります。また、将来の見通しと判断される記述に関しては、企業における事業環境の変化、開発の遅延、競合他社の状況、知財の状況などの既知及び未知のリスクと不確実な要素を含んでいる可能性があります。
この資料で引用している表や図は引用元等を記載していますが個別の許諾を得てはいませんので、本研究会関係者内での共有にとどめてください。
本資料の調査に際しFoovo合同会社佐藤代表より有益な情報をいただきました。感謝申し上げます。

2024年7月19日
(一財)バイオインダストリー協会
日本バイオ産業人会議事務局
坂元

菌糸体でたんぱく質を製造する企業の例

表 1000万ドル以上を調達したマイコプロテインを生産するスタートアップ※

	企業名	国	調達額 (\$百万)	使用菌株	生産方式	FPA	素材名	認可状況
1	Nature's Fynd 旧Sustainable	米国	509.6	<i>Fusarium Yellowstonensis</i>	気液界面発酵	○	Fy protein	GRAS認証、カナダ保健省も販売認可
2	Meati Foods	米国	374.5	<i>Neurospora crassa</i> アカパンカビ	液体培養	×	MushroomRoot	GRAS関連書類をFDAに未提出
3	Myco Technologies	米国	207.6	<i>Lentinula edodes</i> シイタケ	液体培養	○	PureTaste ClearTaste	食用菌のため不要?
4	Quorn Foods	英国	161.0	<i>Fusarium venenatum</i> PTA-2684株	液体培養	○	Quorn	GRAS認証
5	Enough (3F BIO)	英国	121.7	<i>Fusarium venenatum</i>	液体培養	○	Abunda	GRAS認証
6	Infinite Roots 旧Mushlabs	ドイツ	86.7	食用キノコ	液体培養	×	MycoTex MycoFlex	GRAS自己認証
7	MyForestFoods 旧Atlast Food	米国	58.5	<i>Pleurotus ostreatus</i> ヒラタケ	固体培養 AirMycelium	○	MyBacon, MyJerky等	食用菌のため不要?
8	Enifer	フィンランド	51.8	<i>Paecilomyces variotii</i>	液体培養	×	PEKILO	不明
9	Prime Roots 旧Terramino Foods	米国	48.5	<i>Aspergillus oryzae</i> 麹	固体培養 (推定)	○	Koji-Meat	食用菌のため不要?
10	Mycorena	スウェーデン	37.7	<i>Fusarium venenatum</i>	液体培養	○	Promyc	GRAS認定
11	The Protein Brewery	オランダ	23.8	不明	液体培養	○	Fermotein	GRAS自己認証、シンガポールで認証
12	Mycel Project	韓国	10.0	不明	液体培養	×		

※: JABEX調べ、調達額; 米ドル以外の調達では2024年6月時点での\$換算、PFA; 菌類プロテイン協会
企業のリストアップにヌケモレがある可能性があります。Wild Earth(米国、\$49.2M)、CellIX(中国、\$26.3M)は除外。